

研修会参加者数　65名　アンケート回答者　41名　回収率　63％

**Q２.グループワークの方法がいかがでしたか？**

・色々な方の意見が聞けてよかった。

・終始和やかで、なんでも意見を言える雰囲気が良かった。

・医師の立場の意見が聞けてよかった（面白かった）。

・多職種で意見が楽しく言える雰囲気でよかった。患者、家族を中心に入退院支援ルールが共有できれば良いと思う。

・医療側の動き（入院から退院まで）がよくわかり、入院計画をたてるために在宅での様子や家族の意向が必要であることがわかった。

・医療・介護や事業所の垣根を越えて、互いに問題意識の共有や解決に向けての意識統一を図ることが出来た。

・皆で楽しくワイワイ意見が言えてよかった。多職種の方の意見が聞けてよかった。新しい情報も得ることが出来ました。

・様々な意見が出ていて、書いてまとめることでそこから話が広がりました。

・多職種の方とグループワークをすることで、それぞれの専門職の意見が聞けてよかった。

・普段、皆さんがどのように感じて連携をおこなっているかわかってよかった。

・普段皆さんがどのように感じて連携を行っているかわかってよかった。

・時間を多めにとっていただいたので色々な意見が聞けてよかったです。

・医療・介護多職種連携会議を重ねていて、顔が見える関係が出来てきたので話がしやすくなった。

・業務の意見交換が出来てよかった。

・他の職種の方の意見を聞けるので、いろいろな考え方を学べたので良かった。

・ケアマネとの連携など困ったことなど知れてよかった。顔の見える連携が出来ることが一番かな。

**Q４．この研修会で気づいたり、考えが変わったことはありますか？**

・出来ることは協力して良い連携をとりたい。

・各職種それぞれが、相互の連携を求めていることを理解できました。

・医療・介護れんらく帳の活用にみんなが前向きであること。これからどんどん活用して欲しい。

・それぞれの立場からがんばっているところが見えてよかった。

・日ごろから顔を合わせ、関係作りを図ると共にお互い様ということで、エチケットに配慮しながら良い関係での連携をしていきたい。

・連携というものがどのように行われているのか？詳しくはわかっていなかったのが、全体像が把握できた。

・色々な連携の状況が分かりよかった。

・病院側の加算がわかってよかった。

・何度か入院中の利用者に面談に行くときに、アポを取り、出来るだけ担当の看護師等から情報をもらう。

・病院さんの都合や事情がわかることで、施設ですべきことを考えることが出来る場面もあると気づいた。医療側の連携を理解するのが必要。

・医療・介護れんらく帳の活用の促し。

・病院からも「見せてください！」など積極的に確認することが必要。

・ケアマネから県南病院への情報提供がやりにくいことを知った。

・医療・介護れんらく帳をもっと記入して活用しないといけない。

・皆さんがZ連携役に立つなぁと実感をもっていること。

・病院側は面談が必須（加算要件）と知ったので、がんばって出向こうと思う。

・連携時にはアポイントをとって来て頂いているので、お互いにきちんと情報収集をして聞かれたことに返答が出来るようにしていきたいと思います。中々、他の職種の方の意見を聞くことがないので勉強になりました。

・情報共有書に認知症版があることを知らなかった。

・お互い様。協力しましょうと思いました。

・認知症のある患者に対しての連携が大切。家族との関係など良く知っておくこと。情報をケアマネの方より得ることが必要。本人や家族に聞けないこともある。

・久しぶりに参加しました。大事な仕事を共に毎日しているのに、お目にかかることが少ないのでこのような会はまず出席することが一番と強く感じました。もっともっと会えるといいですね。

**Q５．講義の内容や、会議の企画・運営に対するご意見（グループワークの方法など）があればお書き下さい。**

・Z連携が役立っていることが県レベルの行政に伝わっていない気がします。まだ、マイナーだと思うのでもっとアピールして欲しい。

※同じ内容のご意見はまとめて掲載させて頂きました。